

災害時に命を守る!

# 防災 ガイドブック

風水害

地震

対策・避難

## もくじ

はじめに、本書のみかた・使いかた ..... 1

### ●風水害

豊山町の地域特性(風水害) .....	2
雨・風・台風について .....	3
風水害ハザードマップについて .....	4
警戒レベルと避難行動 .....	5
庄内川浸水想定最大規模【外水氾濫】 .....	7
新川浸水想定最大規模【外水氾濫】 .....	9
大山川浸水想定最大規模【外水氾濫】 .....	11
八田川浸水想定最大規模【外水氾濫】 .....	13
高潮浸水想定区域図 .....	14
内水氾濫シミュレーション地図 .....	15

### ●地震

豊山町の地域特性(地震) .....	17
地震の基礎知識について .....	18
南海トラフ地震に関する情報 .....	19
あなたがとるべき行動 .....	21
震度分布予想図 .....	22
液状化危険度予想図 .....	23
建物被害危険度予想図 .....	24

### ●対策・避難

防災情報の入手について .....	25
わが家の防災対策 .....	26
非常持ち出し品・備蓄品 .....	28
マイ・タイムライン .....	29
避難所・関係機関一覧 .....	30

# はじめに

近年、台風や線状降水帯による大雨・浸水被害が毎年のように発生し、日本各地に深い爪痕を残しています。また、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震に加え、令和6年1月には能登半島地震が発生しました。最大震度7を観測したこれらの震災は、私たちの平穏な日常を一瞬にして奪い去る恐ろしさを改めて突きつけました。こうした自然災害は決して他人事ではなく、いつこの豊山町で発生してもおかしくありません。災害そのものを防ぐことは不可能ですが、日頃の備えや地域の危険性を正しく知ること、被害を最小限に抑える「減災」は可能です。町民の皆さま一人ひとりが自分事として危機感を持ち、個人・家庭、そして地域全体で備えを万全にしていきましょう。

## 本書のみかた・使いかた

この防災ガイドブックは、今後発生する可能性がある風水害や地震などの様々な災害について、あらかじめ知っておくべき知識や、避難する際の注意点などを記事や地図でわかりやすく説明しております。

自宅や日常生活でよく行く場所などを、地図上に記して、その周辺で想定される災害の危険性や避難所の場所・経路を確認し、災害が発生した場合にどのような行動をすべきか話し合しましょう。

風水害についての情報は…P2～16をご覧ください。

地震についての情報は…P17～24をご覧ください。

防災対策・避難についての情報は…P25～30をご覧ください。

監修 名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授 **倉田和己**

豊山町は、愛知県の中では比較的災害の危険性が低い自治体です。しかし、備えをしないで良いわけではありません。空の玄関口たる豊山町は、県全体の基幹的広域防災拠点となります。つまり、皆さんの備えにより豊山町が災害に強くなれば、その分だけ県全体も強くなるのです。このガイドブックを活用して、豊山町を一層「小さくても頼れる町」としていただくことを願っています。

# 豊山町の地域特性（風水害）

豊山町は海拔9mほどの概ね平坦地ですが、北東側に比べ南西側がわずかに低くなっています。

風水害においては東海豪雨以降、幸いにも災害で大きく被災することはありませんでした。しかし近年全国では線状降水帯（P3へ）や猛烈な台風（最大風速54m/s以上）で予想以上の大雨や風の被害が毎年のように発生しています。「いつ災害が起きてもおかしくない」と意識することが必要です。

## 過去の町内での災害

### 【伊勢湾台風 昭和34年9月】 ●最低気圧895hPa、最大風速75m/s



昭和34年9月26日に伊勢湾岸地帯を襲った台風は、町内で負傷者32名、全壊戸数22戸、半壊戸数42戸、床下浸水約400戸の被害をもたらしました。この台風による被害の復旧は翌年8月ごろまでかかりました。

### 【東海豪雨 平成12年9月】 ●時間最大雨量97.0mm、日雨量428.0mm (名古屋市地方気象台観測)



平成12年9月11日から12日未明にかけて東海地方を襲った豪雨は、町内で床上浸水105世帯、床下浸水78世帯、事業所浸水105事業所の被害をもたらしました。この豪雨により負傷者は出なかったものの、北部市場周辺や志水地区の大部分が冠水しました。

風水害

地震

対策・避難








過去の災害で被害を受けられた方の多くは「まさか自分が…」とおっしゃいます。油断は禁物です。

# 雨・風・台風について

毎年、台風や前線の影響で暴風や集中豪雨、洪水による被害が発生しています。事前に気象情報を入手して、風水害への備えを行い、早めの避難行動に移すよう心がけましょう。

## 雨の強さと降りかた

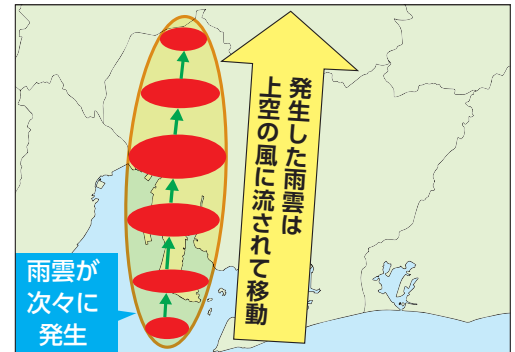
				
<b>やや強い雨</b> (10mm 以上 20mm 未満)	<b>強い雨</b> (20mm 以上 30mm 未満)	<b>激しい雨</b> (30mm 以上 50mm 未満)	<b>非常に激しい雨</b> (50mm 以上 80mm 未満)	<b>猛烈な雨</b> (80mm 以上)
ザーザーと降る。地面からはね返りで足元がぬれる。	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川ようになる。	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。	恐怖を感じる。まわりの視界が水しぶきで悪くなる。

風水害

## 線状降水帯

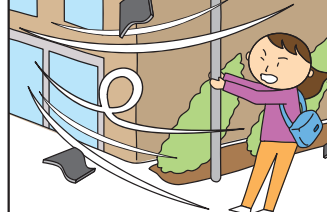
### 線状降水帯の正体は積乱雲(雷雲)の集団

同じ場所で雨雲が次々と発生・発達し、同じ経路を強い雨雲が数珠つなぎに進むことで作りだされる、線状に延びる長さ50～300キロメートル程度、幅20～50キロメートル程度の強い降水をとともなう雨域のことをいいます。



地震

## 風の強さと吹きかた

			
<b>やや強い風</b> (10m 以上 15m/秒未満)	<b>強い風</b> (15m 以上 20m/秒未満)	<b>非常に強い風</b> (20m 以上 30m/秒未満)	<b>猛烈な風</b> (30m/秒以上)
風に向かって歩きづらくなる。樹木全体が揺れ始める。	風に向かって歩くことが困難。電線が鳴り始める。	立っていることが困難。瓦などが飛散したり、樹木が倒れるおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。

対策・避難

## 台風の強さと大きさ

### ・台風の強さ(最大風速:m/秒)

33m/秒未満	強さの表現なし
33m/秒以上44m/秒未満	強い
44m/秒以上54m/秒未満	非常に強い
54m/秒以上	猛烈な

### ・台風の大きさ(風速15m/秒以上の半径)

500km未満	大きさの表現なし
500km以上800km未満	大型
800km以上	超大型



普段から気象情報を読む/聞く練習をしておくと、いざという時も冷静に対処できます。

# 風水害ハザードマップについて

## 外水氾濫と内水氾濫

### 外水氾濫

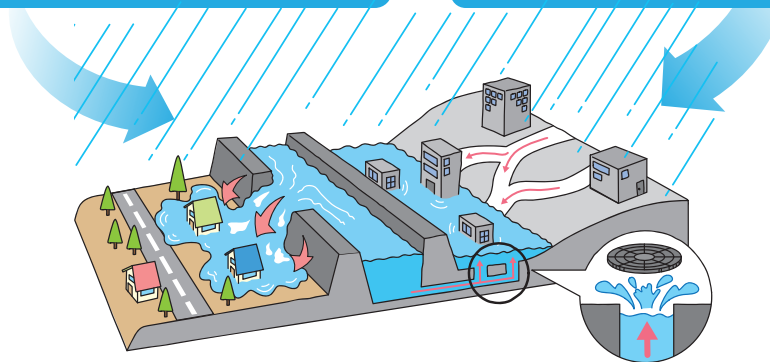
大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水です。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、迅速な避難行動が必要です。

洪水ハザードマップはP7～13へ

### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる浸水です。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要です。

内水ハザードマップはP15～16へ



※河川の氾濫と内水氾濫が同時に起きることもあります。

## 豊山町に影響のある河川の洪水浸水想定区域図

河川の氾濫により住宅などが水につかる浸水が想定される区域を記した図を、洪水浸水想定区域図といいます。洪水浸水想定区域図に避難場所等を図示したものをハザードマップといいます。水防法第14条に基づき指定された、豊山町に影響のある以下の4河川のハザードマップをP7～P13に掲載しています。



庄内川 P7・8 へ



新川 P9・10 へ



大山川 P11・12 へ



八田川 P13 へ

## 高潮について

高潮は台風や猛烈に発達した低気圧が原因で発生します。気圧低下による吸い上げ効果や同じ風向きで強風が吹き続けることによる吹き寄せ効果で、海面が全体的に上昇する現象です。高潮ハザードマップをP14に掲載しています。



ひとくちメモ 全ての災害状況を想定することは現代科学では困難であり、ハザードマップで浸水していないから絶対に安全とは思わない事が大切です。

# 警戒レベルと避難行動

## 警戒レベル

災害発生の危険度及びとるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報です。それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と町民の方々がとるべき行動は5段階の「警戒レベル」に分類されます。

### <避難情報等>

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> 既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<b>緊急安全確保</b> (町が発令)

### <警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>

4	<b>危険な場所から全員避難</b> 速やかに近くの高い場所、自宅内の2階以上など、高い場所に避難しましょう。	<b>避難指示</b> (町が発令)
3	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b> (町が発令)
2	<b>自らの避難行動を確認</b> 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>氾濫注意報等</b> (気象庁が発表)
1	<b>災害への心構えを高める</b> 災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)

### <防災気象情報>

#### 警戒レベル相当情報(例)

##### 警戒レベル5相当情報

氾濫特別警報 (●●●川)  
気象特別警報 等

##### 警戒レベル4相当情報

氾濫危険警報 (●●●川)  
気象危険警報 等

##### 警戒レベル3相当情報

氾濫警報 (●●●川)  
気象警報 等

警戒レベル相当情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、愛知県が発表)

風水害

地震

対策・避難

## 避難するときは

### 動きやすい服装、2人以上での避難

避難するときは動きやすい服装で、2人以上の集団で避難しましょう。靴については、長靴は中に水が入ると危険です。脱げにくい靴を履きましょう。



### 冠水している道路は避ける

冠水している道は、マンホールの蓋が開いていても水で見えなかったり、側溝へ足を取られたり大変危険です。冠水している道は避けて避難しましょう。やむを得ずそうした道を通る場合は、長い棒などで地面を探りながら避難しましょう。車は水に浸かると動かなくなり、水防活動の妨げにもなるため、自動車での避難は控えましょう。



### 川や用水路の様子は見に行かない

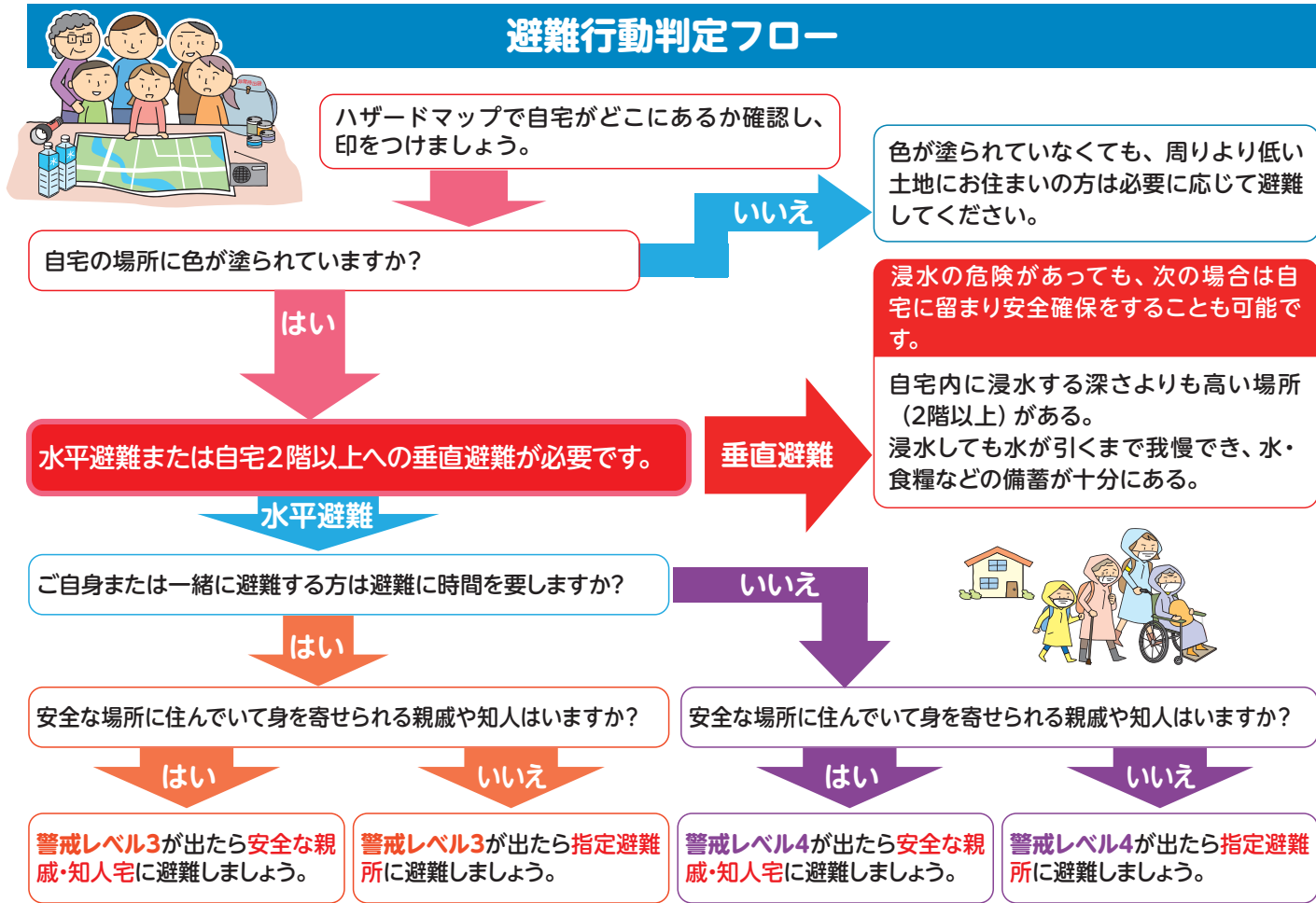
増水した川や用水路を見に行くことは大変危険です。避難の際も、川や用水路の近くは通らないようにしましょう。



警戒レベル5を待っていると「手遅れ」になります。反対に、早めに対処することで車を高台へ移動させたり、家具を2階へ運んだりすることもできます。

## あなたがとるべき避難行動

風水害はどこで発生してもおかしくありません。避難指示の発表を待つのではなく、周りの状況を見て、以下の避難行動判定フローを参考に行動してください。



参考：内閣府「避難情報に関するガイドラインの改定」(令和3年度)

## 水平避難と垂直避難

水平避難とは、今いる危険な場所から可能な限り遠くにある安全な場所へ向かう避難方法のことです。

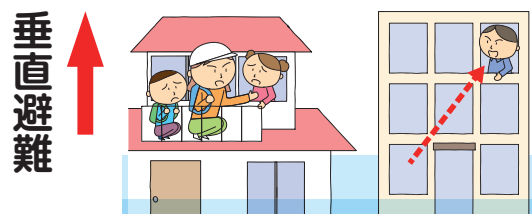
垂直避難とは、災害時に安全な場所と空間を確保するために上下垂直方向に避難することです。津波や洪水の際に家や避難施設の高所階に上がったり、地震の際に高層ビルの上階から地表に下りたりすることをいいます。

安全に避難できるときは



← 水平避難

安全な避難が困難なときは



↑ 垂直避難

風水害

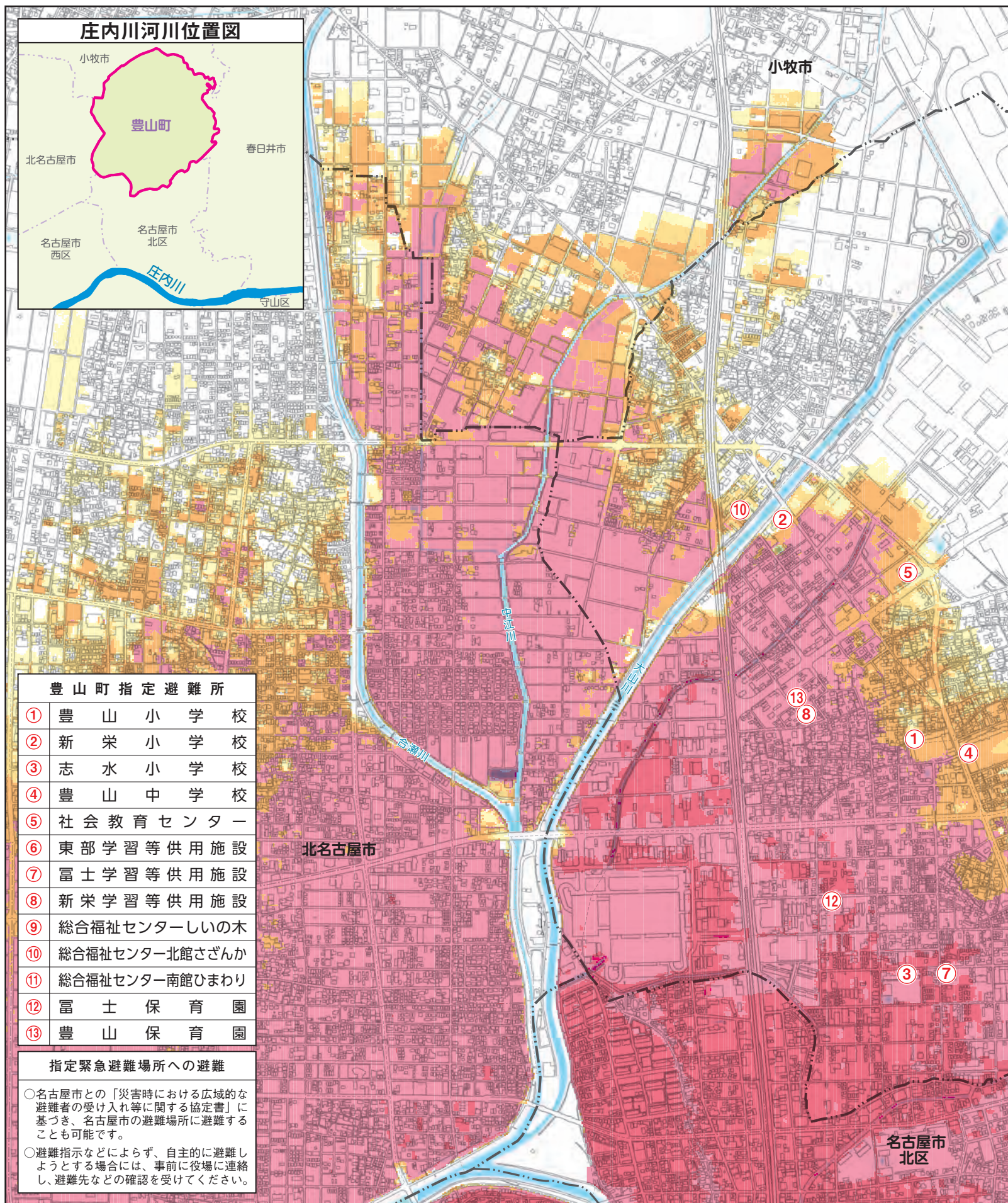
地震

対策・避難



ひとくちメモ  
水害時にどこへ逃げるかは予め決めておき、一度その道を歩いてみると良いでしょう。橋や側溝など、意外な危険箇所があるかもしれません。

● 庄内川 浸水想定最大規模 【外水氾濫】



庄内川河川位置図

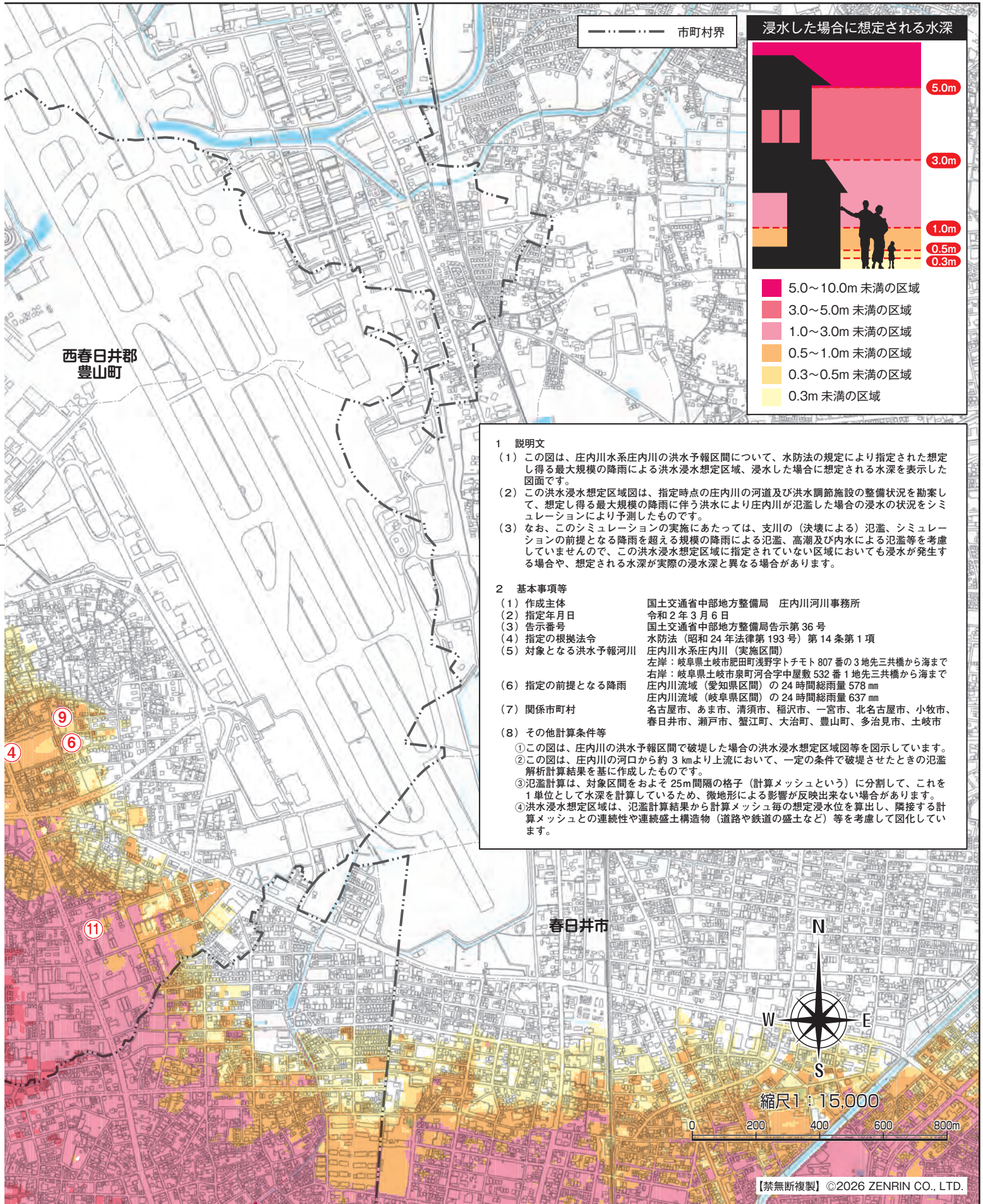


豊山町指定避難所	
①	豊山小学校
②	新栄小学校
③	志水小学校
④	豊山中学校
⑤	社会教育センター
⑥	東部学習等供用施設
⑦	富士学習等供用施設
⑧	新栄学習等供用施設
⑨	総合福祉センターしいの木
⑩	総合福祉センター北館さざんか
⑪	総合福祉センター南館ひまわり
⑫	富士保育園
⑬	豊山保育園

指定緊急避難場所への避難

- 名古屋市との「災害時における広域的な避難者の受け入れ等に関する協定書」に基づき、名古屋市の避難場所に避難することも可能です。
- 避難指示などによらず、自主的に避難しようとする場合には、事前に役場に連絡し、避難先などの確認を受けてください。

ご自宅が浸水想定区域である場合P6を参考に避難行動をしてください。

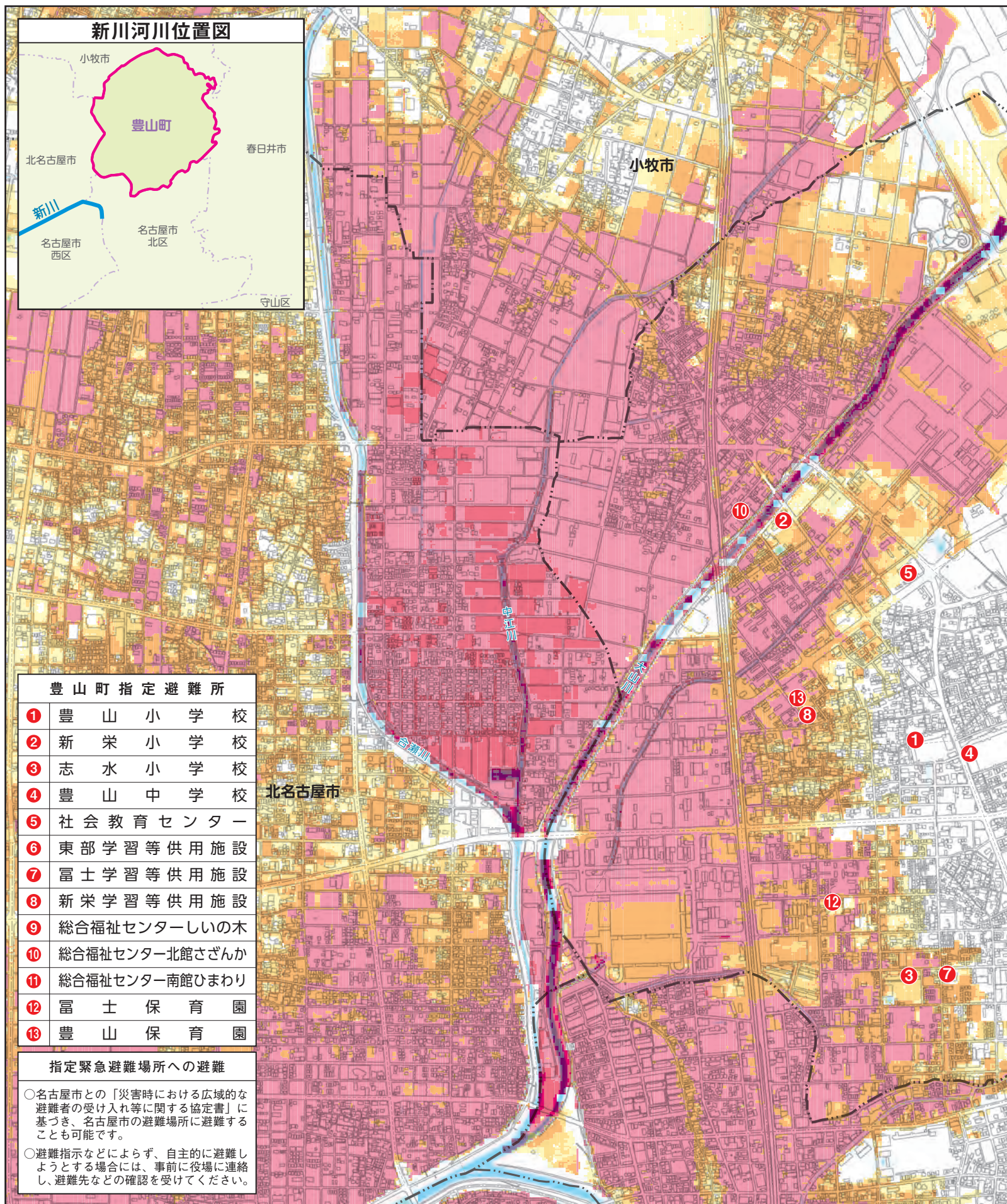


風水害

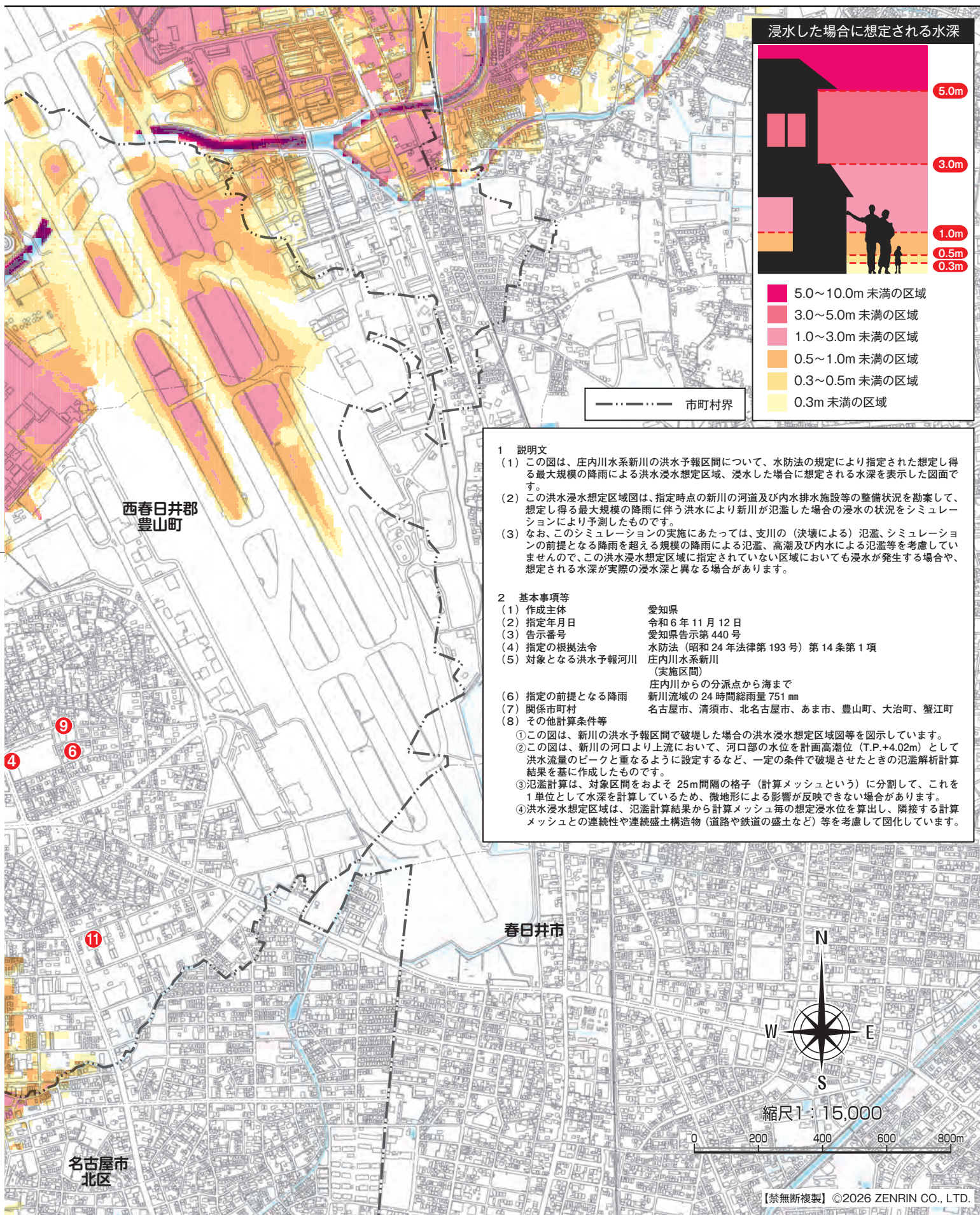
地震

対策・避難

## ● 新川 浸水想定最大規模 【外水氾濫】



ご自宅が浸水想定区域である場合P6を参考に避難行動をしてください。

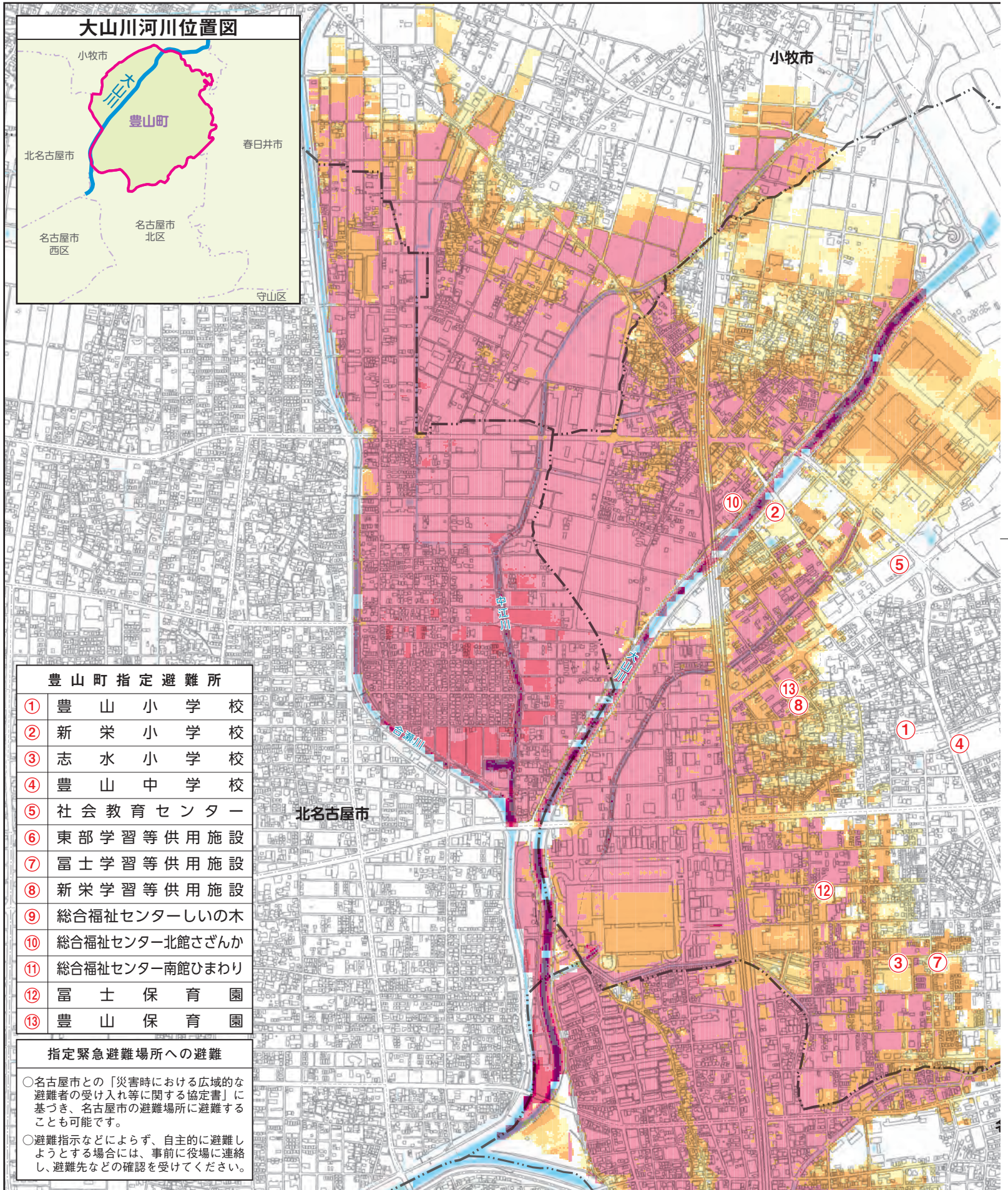


風水害

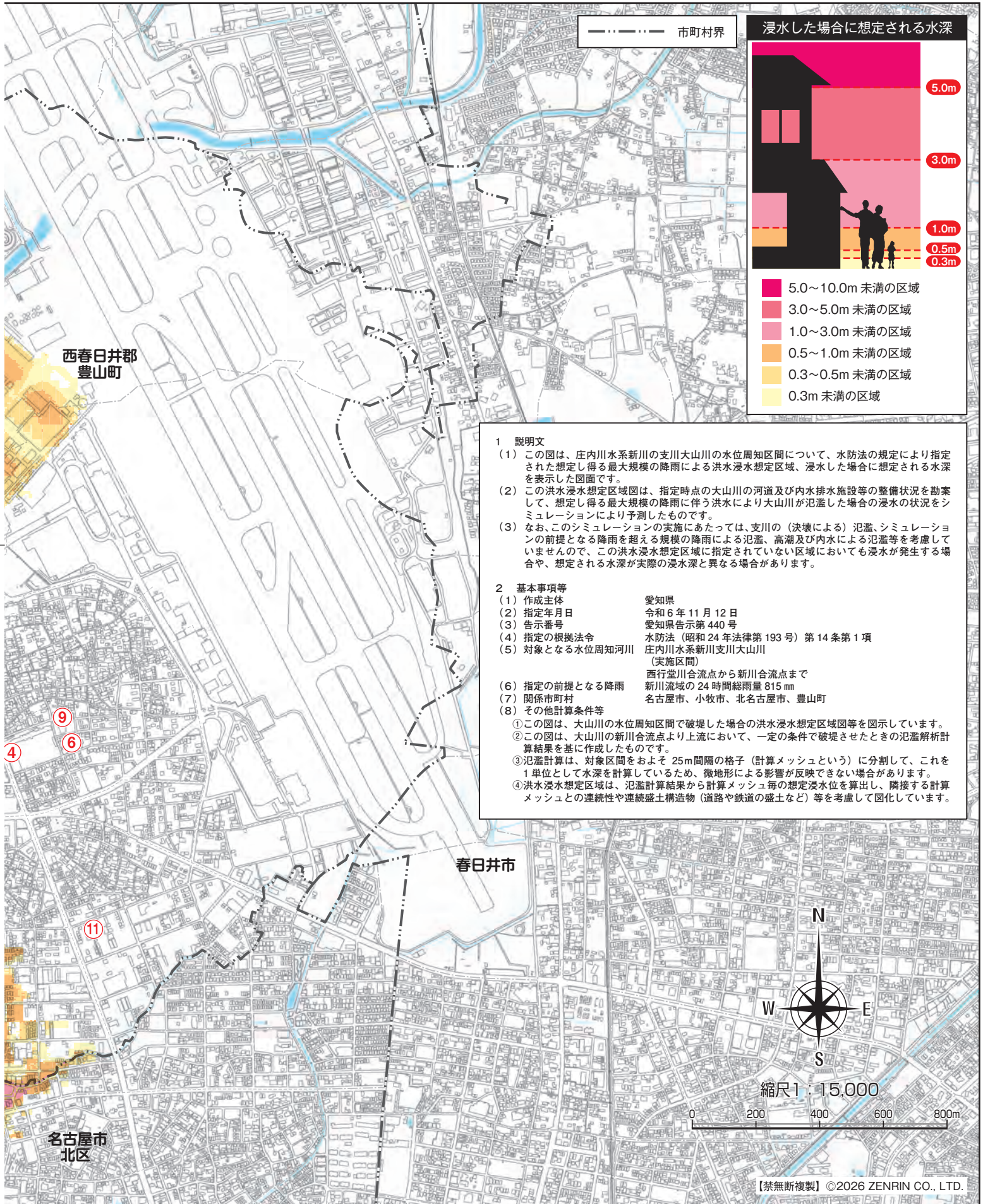
地震

対策・避難

● 大山川 浸水想定最大規模 【外水氾濫】



ご自宅が浸水想定区域である場合P6を参考に避難行動をしてください。



1 説明文  
 (1) この図は、庄内川水系新川の支川大山川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の大山川の河道及び内水排水施設等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大山川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等  
 (1) 作成主体 愛知県  
 (2) 指定年月日 令和6年11月12日  
 (3) 告示番号 愛知県告示第440号  
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項  
 (5) 対象となる水位周知河川 庄内川水系新川支川大山川（実施区間）  
 西行堂川合流点から新川合流点まで  
 (6) 指定の前提となる降雨 新川流域の24時間総雨量815mm  
 (7) 関係市町村 名古屋市、小牧市、北名古屋市、豊山町  
 (8) その他計算条件等  
 ①この図は、大山川の水位周知区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
 ②この図は、大山川の新川合流点より上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

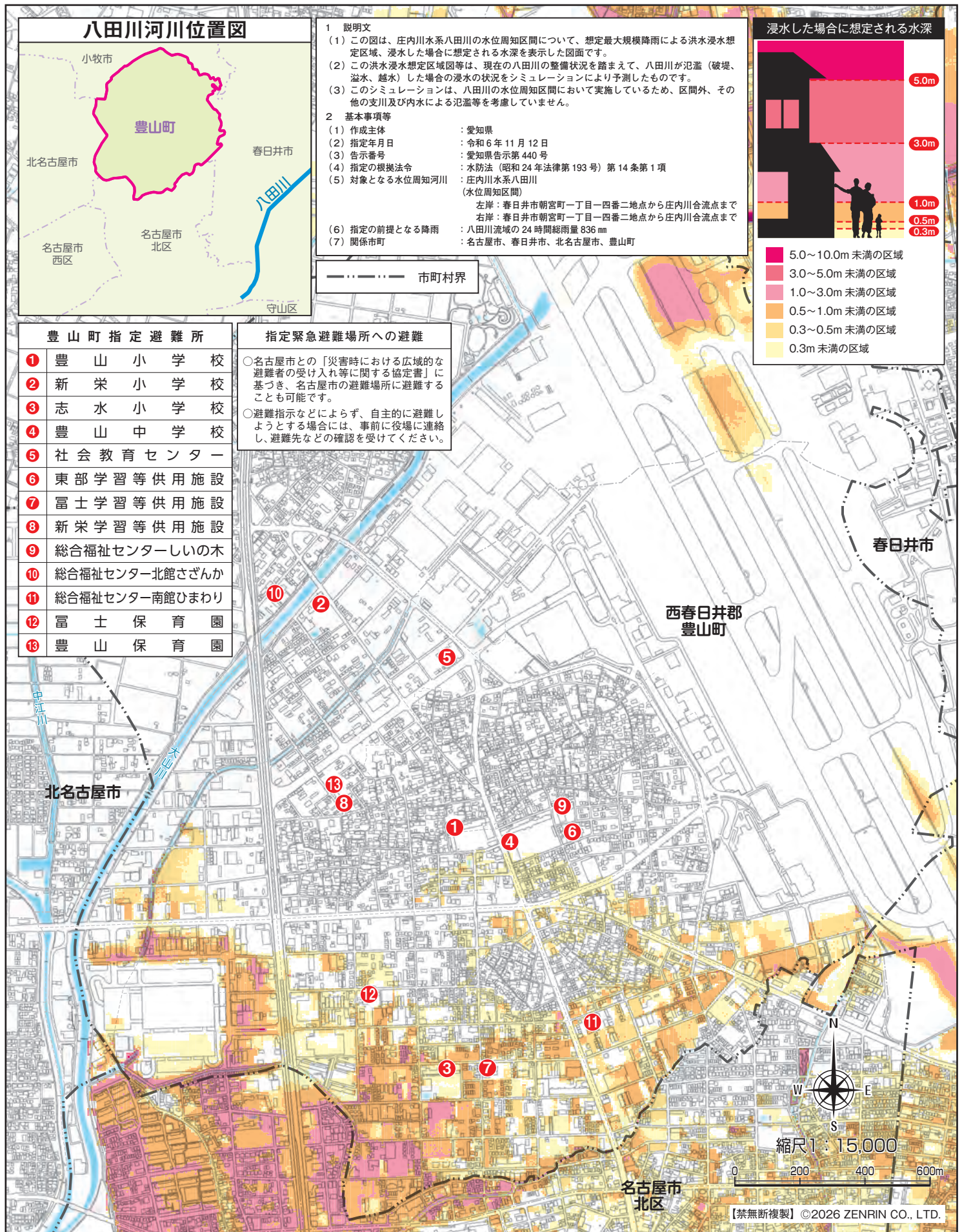
風水害  
 地震  
 対策・避難

# ● 八田川 浸水想定最大規模 【外水氾濫】

風水害

地震

対策・避難

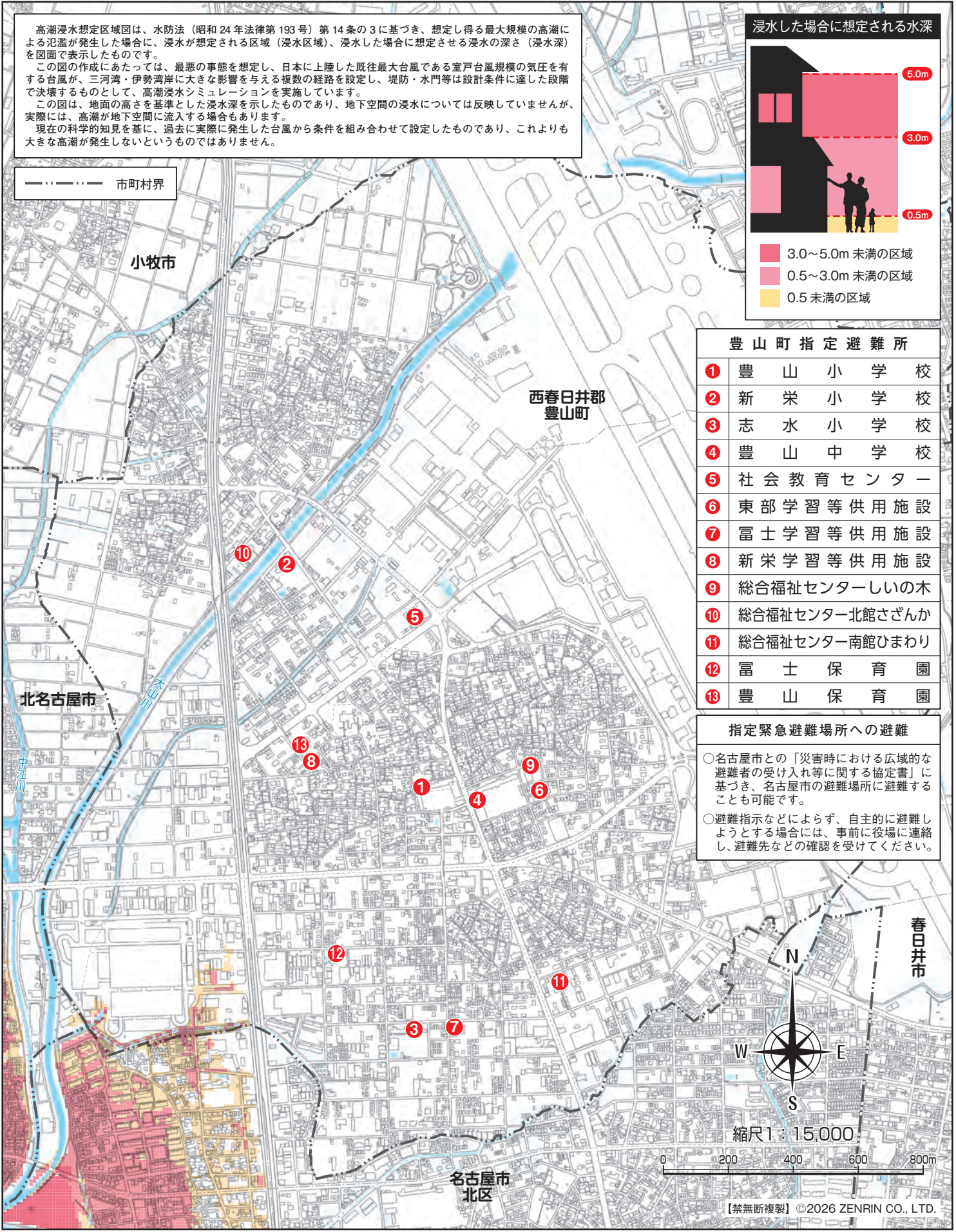


## 高潮浸水想定区域図

風水害

地震

対策・避難



# 内水氾濫シミュレーション地図

## 指定避難所一覧

No.	施設・場所名
1	豊山小学校講堂
2	新栄小学校体育館
3	志水小学校体育館
4	豊山中学校体育館
5	社会教育センター
6	東部学習等供用施設
7	富士学習等供用施設
8	新栄学習等供用施設
9	総合福祉センターしいの木
10	総合福祉センター北館さざんか
11	総合福祉センター南館ひまわり
12	豊山保育園
13	富士保育園

## 防災関係施設一覧

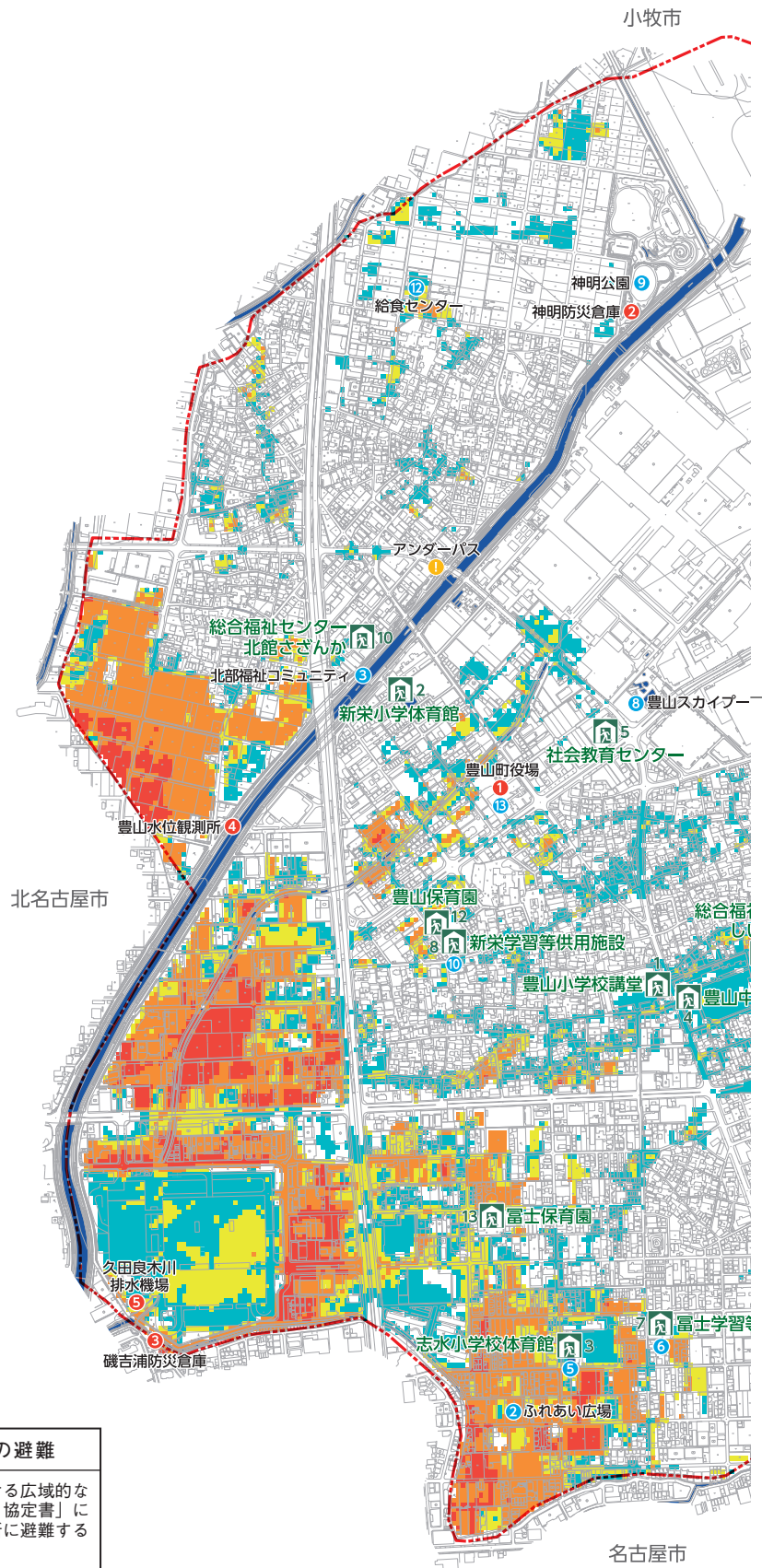
No.	施設・場所名
①	豊山町役場(役場防災倉庫)
②	神明防災倉庫
③	磯吉浦防災倉庫
④	豊山水位観測所
⑤	久田良木川排水機場

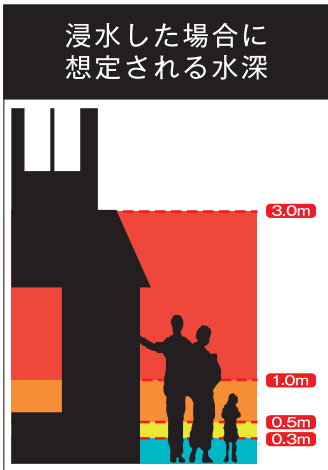
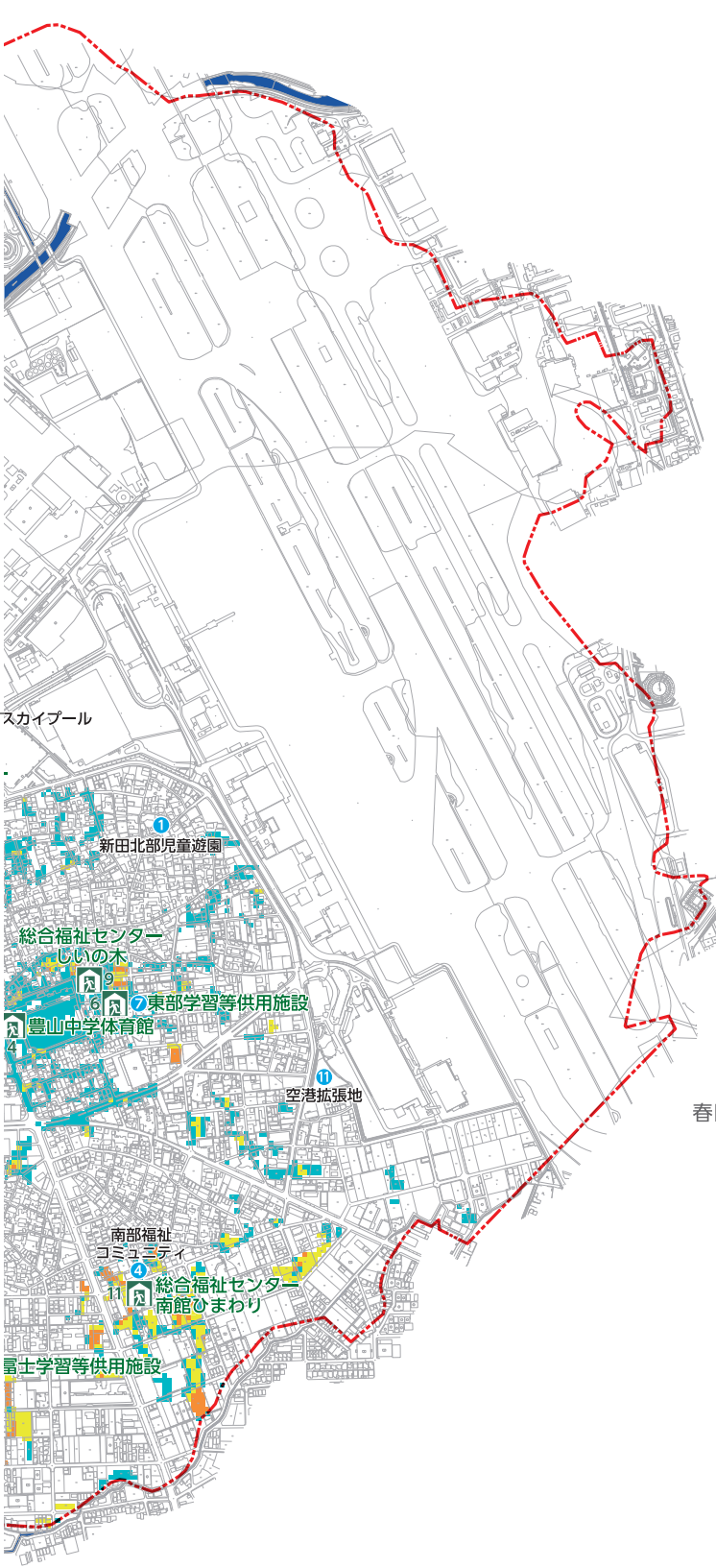
## 雨水調整池一覧

No.	施設・場所名
①	新田北部児童遊園
②	ふれあい広場
③	北部福祉コミュニティ
④	南部福祉コミュニティ
⑤	志水小学校
⑥	富士学習等供用施設
⑦	東部学習等供用施設
⑧	豊山スカイプール
⑨	神明公園
⑩	新栄学習等供用施設
⑪	空港拡張地
⑫	給食センター
⑬	豊山町役場

### 指定緊急避難場所への避難

- 名古屋市との「災害時における広域的な避難者の受け入れ等に関する協定書」に基づき、名古屋市の避難場所に避難することも可能です。
- 避難指示などによらず、自主的に避難しようとする場合には、事前に役場に連絡し、避難先などの確認を受けてください。





**凡例**

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 1.0~3.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

- 行政区画界
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川

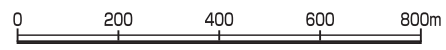
- 家 指定避難所
- 1 防災関係施設
- 2 雨水調整池
- 1 アンダーパス

- 1 説明文**
- (1) この図は、一時的に大量の降雨が生じた場合、この降雨が下水道・河川等に排水できないことによって発生が予想される浸水（「内水浸水」といいます）について、その区域と浸水した場合に予想される水深を示したものです。
  - (2) 内水浸水想定区域図の策定範囲は、豊山町行政区域から県営名古屋空港を除いた区域（A = 438ha）を対象としています。
  - (3) この内水浸水想定区域図は、豊山町の下水道管渠の整備状況などを勘案して、豊山町の区域内において想定し得る最大規模（時間雨量14.7mm）の降雨により、内水浸水が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
  - (4) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、シミュレーションの前提となる降雨や、庄内川や新川、大山川、八田川を始めとする河川が破壊または溢水した場合の洪水等は考慮していませんので、この内水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項**
- (1) 策定主体 豊山町
  - (2) 指定年月日 令和4年3月
  - (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
  - (4) 指定の前提となる計画降雨 豊山町の区域に時間雨量14.7mmの降雨
- 3 浸水想定区域図の見方と注意事項**
- (1) この浸水想定区域図は、地盤高や水路の状況等を考慮した計算により作成したものです。実際の降雨では、表示した浸水想定区域及び深さと異なる場合があります。
  - (2) 着色された場所は、他の場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意が必要です。（浸水想定区域は計算に基づくものですので、必ずしも浸水が発生するというわけではありません）
  - (3) 着色のない場所でも、雨の降り方によっては浸水が発生する可能性がありますので注意して下さい。

春日井市



縮尺1:15,000



風水害

地震

対策・避難